

高台だより

令和2年4月号
No.433
発行責任者
三原重徳
総合窓口
954-7496
会員335世帯
全379世帯

「命二つの中
に生きる
桜かな」
芭蕉

令和2年度の方針・組織など決まる パンデミックで総会開かず投票で決定

第35回高台自治会総会を、4月11日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症が流行していることから、自治会会則16条によりの、総会を開かず、会員全員に「総合議案書」を配布しました。議案書にはI号議案(事業報告)、II号議案(決算報告)、III号議案(常任委員選出)、IV号議案(事業計画案)、V号議案(予算案)があり、その賛否を「議決権行使票」でお聞きしました。

その結果自治会会員334名(3月31日現在)の内276名(82%)から返却があり、集計したところ全議案を賛成いただきました。会則21条の行使票の過半数以上(168票)で可決の規定により、全議案が議決されました。

ご意見欄には、公園清掃、防災班、路上駐車、高齢化対策、カラス対策、別荘のみ、生涯学習などについて59件の提案・質問をいただきました。対応について自治会で検討し追ってお知らせします。

部会等報告

自治会

◆2号公園の「公園施設長命化対策工事」が終了しました。公園の遊戯類が老朽化したことにより、皆さんにアンケートをとり、「ご希望を取り入れて遊具、ベンチ、砂場等が新しくなりました。

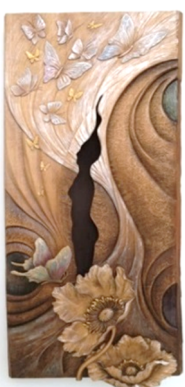


◆高台の令和2年小学校新入学児童は8名でした。入学お祝い金を、自治会からお渡ししました。入学おめでとうございます。

◆委員・III号議案にある6名の常任委員、22名のブロック委員について、承認をいただきました。常任委員で互選を行い、会長に14Bの三原重徳さんが引き続き会長と決まりました。また会長を補佐する副会長には17Bの小島康弘さん、出納・多管理をする会計には14Bの黒田侑季さん、事務・作成を担当する庶務には6Bの矢形敦史さんがそれぞれ決まりました。また常任委員の担当もきまり、外部団体の役員も決まりました。下の表をご覧ください。(敬称略)

◆ブロック委員・新しくブロック委員も決まりました。下の表をご覧ください。◆令和2年度予算V号議案の総額237万円の予算も承認されました。

◆第200回長岡京展が開催され、応募総数118点の中から、高台から次の方々が受賞されました。おめでとうございます。◆洋画 森本達さん(京都新聞社賞) ◆工芸 辻井雅子さん(長岡京市長賞) ◆洋画 黒田登子さん(入選)



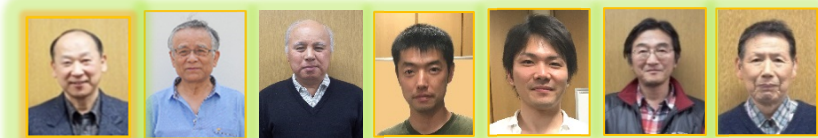
「此処で 生きている」 辻井さんの木彫り作品

◆4丁目入り口付近のごみ置き場が新しくなりました。これは前田建設との開発協定書に基づき、実施いただいたものです。



四	会長	14	三原 重徳
	副会長	17	小島 康弘
	会計	14	黒田 侑季
	庶務	6	矢形 敦史
部会担当委員	美化・衛生担当	19	片瀬 富士夫
	防災防犯担当	21	常葉 淳一
	福祉担当	15	高瀬 昇
	スポ・レク担当	17	小島 康弘
	広報担当	7	後藤 国彦
	自主防災会会長	20	山中 繁
	集会所管理担当	14	三原 重徳
監事		19	高瀬 昇

B	ブロック委員	
1	小川 敬子	11 吉田 力
2-1	天方 時和	12 小田切 かず子
2-2	松井 博行	13 藤田 好子
3	山本 典明	14 伊藤 清子
4	村上 京子	15 軽部 美智子
5	谷口 諭	16 辻井 雅子
6	海藤 直美	17 木下 雅弘
7	山根 光礼	18 笠倉 駒子
8	尾崎 時夫	19 木畑 善博
9	中村 信昭	20 片山 珠紀
10	大住 岳哉	21 横江 隆之



大崎民生委員 山中防災会長 高瀬監査 矢形庶務 黒田会計 小島副会長 三原会長

コロナウイルスでこれまで経験したことのない混沌が続いています。春は再び巡り来、時をおかすし桜も満開になりました。2号公園と3号公園のソメイヨシノも艶を競っています。高台自治会25周年記念で植樹された5号公園の枝垂れ桜も華麗に咲きました。



左上から: 3号公園のソメイヨシノ、5号公園の枝垂れ桜、2号公園のソメイヨシノ

外部団体役員	B
廃棄物減量等推進委員会	19 片瀬 富士夫
社会体育振興会(常任理事)	17 小島 康弘
(理事)	8 白坂 忠男
(理事)	5 宮原 邦浩
少年補導委員会	3 大前 良一
	19 高瀬 昇
防犯委員会	19 片瀬 富士夫
	19 高瀬 昇
民生児童委員	2-1 篠山 千春
	15 大崎 清司

廃棄物減量等推進委員会は市のゴミ減量を考える組織、社会体育振興会は運動会などのスポーツ振興、少年補導委員会は児童登校の見守り、防犯委員会は青パトでの巡回、民生児童委員は独居高齢者の見守りをするなどの厚労省主管の組織

コロナウイルスに負けるな

新型コロナウイルスによる感染は、世界規模で拡散しパンデミック(世界的大流行)の様相を呈しています。前回のSARSは、世界で8千人の感染で終息しましたが、さらに前のスペイン風邪では、当時の世界人口の3分の1が罹患し、死者は1億人にもなったとされます。



電子顕微鏡でしか見られないコロナウイルス

新型コロナウイルスに対する治療薬やワクチンがない以上、最悪の状態まで感染していく危険性は高まっています。身近な長岡京市や大山崎町でも感染者がでており、危機は目の前にあります。コロナウイルスによる感染は、保菌者の唾液にあるウイルスが他人の口や目などの粘液に着くことによってもおこります。そのため、保菌者が触れたものに触れた手を介して口などの粘膜から侵入することを防ぐ必要があります。そのため帰宅時の完全な手洗いや消毒が肝要です。

また国が注意喚起しているように、不用不急の外出を控えることが重要です。連日新型コロナウイルスについての報道がなされていますが、それぞれ見解の違う内容(空気感染の有無、致死率、年齢別致死率、治療薬、終息時期、マスクの有効性等)も、テレビ・インターネット等でなされていますが、各自で判断して正しい情報で正しい行動をとるよう心掛けてください。

コロナウイルスの自治会の対応

新型コロナウイルス感染を防止するため、3月度の定例役員会は中止となり、3月の高台だよりの発行でできません。3月の高台行事も中止となり、4月についても全ての行事を取りやめとなっております。

現在法律による「緊急事態宣言」が、全ての都道府県に出されており、期限は5月連休明けまでとなっております。しかし現在でも感染は拡大しており終息する可能性は不明で、先行きは不透明です。緊急事態宣言が出されている間は、自治会主催の行事は中止となります。3月4月に続いて、5月の行事も開催を決めることはできません。

政府の支援を受けよう

国から「生活支援金」として国民一人当たり10万円が給付されます。また1世帯2枚の布マスクがポスティングされます(郵便受けに届きます)。

布マスクは、申豆をしながら各世帯に配布されます。生活支援金は、所得による制限などはなく、子どもにも支給されます。申請のため、市役所などに人が押し寄せる可能性があるため、ネットでの申告を薦めています。

パソコンがインターネットに繋がらない、操作方法が分からないなどがありましたら、総合窓口まで申し出てください。紙マスクの必要な方は、総合窓口まで申し出てください。

自治会未加入の皆さん

これまで自治会では、南海トラフ大地震や、大雨や台風などの自然災害に対応するため、「高台自主防災会」の整備を行い、活動してきました。今回の新型コロナウイルスは、これら災害をはるかに超える大災害で、全員で対応していく必要があります。自治会未加入の44世帯の皆さんも、是非この機会に加入いただければと思います。